

令和2年度

決算報告書

第7期事業年度

自 令和2年 4月 1日

至 令和3年 3月31日

公立大学法人長岡造形大学

令和2年度 決算報告書

公立大学法人 長岡造形大学

(単位：千円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算-予算)	備考
収入				
運営費交付金	860,154	864,590	4,436	(注1)
自己収入	727,172	639,061	△ 88,110	
授業料等及び入学金検定料収入	687,347	627,377	△ 59,969	(注2)
雑収入	39,825	11,683	△ 28,141	(注3)
受託研究等収入	5,000	5,750	750	
補助金等収入	0	61,096	61,096	(注4)
寄附金収入	500	11,740	11,240	
承継資金財源	151,254	0	△ 151,254	(注5)
計	1,744,080	1,582,238	△ 161,841	
支出				
業務費	1,506,260	1,366,238	△ 140,021	
教育研究経費	466,854	385,571	△ 81,282	(注6)
人件費	1,039,406	980,667	△ 58,738	(注7)
一般管理費	232,820	195,350	△ 37,469	(注8)
受託研究等経費	5,000	3,073	△ 1,926	
計	1,744,080	1,564,662	△ 179,417	

○ 表示単位について

表中の金額は、千円未満を切り捨てて表示しています。

○ 補助金等収入について

補助金等収入は、高等教育の修学支援新制度に基づく授業料等減免に対する授業料等減免事業補助金60,292千円及び令和2年度大学改革推進等補助金803千円を受領によるものであり、これらの補助金は全額を授業料等減免に使用しています。

○ 予算額と決算額の差異について

(注1) 算出基礎となる学生数が当初見込みを上回ったことによるもの

(注2) 「高等教育の修学支援新制度」に基づく授業料等減免の実施によるもの

(注3) 新型コロナウイルス感染症の影響で市民工房、こどもものづくり大学校等を中止し、受講料収入がなかったことによるもの

(注4) 予算では補助金の見込額を授業料及び入学金検定料収入に含めて計上したことによるもの

(注5) 業務費及び一般管理費の決算額が減少したことによるもの

(注6) 入札及び見積り合わせによる契約額の減少、新型コロナウイルス感染症の影響による旅費及び光熱水費の減少等によるもの

(注7) 新型コロナウイルス感染症の影響で、非常勤講師の出講制限をし、給与が減少したこと等によるもの

(注8) 入札及び見積り合わせによる契約額の減少、新型コロナウイルス感染症の影響による旅費及び光熱水費の減少等によるもの

○ 予算額と決算額の集計区分の差異について

教育研究経費として予算計上した授業補助・研究補助にかかるアルバイト賃金を、決算では人件費に計上しています。